

サステナブルファイナンスの 「量」の拡大と「質」の向上に向けて

山 崎 剛
（株式会社静岡銀行
コーポレートサポート部
法人ファイナンスグループ課長）



<持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速>

現在、人口減少や高齢化といった社会構造の変化に加え、コロナ禍を経てデジタル化や脱炭素化など、産業構造を大きく変革させる動きが加速するとともに、人々の価値観や行動様式も変わり、地域やお客さまが抱える課題やニーズは多様化、高度化しています。

こうしたなか、静岡銀行では、地域の持続可能性向上やスムーズな脱炭素社会への移行をめざし、2020年にTCFD提言への賛同を表明し、2021年4月に、グループ環境方針の改定および特定セクターに対する投融資方針を制定したほか、同年10月には、2030年度までの「サステナブルファイナンス目標」を累計2兆円と定めて取り組んでいます。

また、本年4月に持株会社体制に移行して初となる第1次中期経営計画をスタートし、中計ビジョン「未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ」を掲げ、課題解決にさらなる磨きをかけるとともに、社会価値と経済価値の両立をめざす指標として、新たに「サステナビリティ指標」を導入しました。この指標の中には、社会インパクト指標として、静岡県内の温室効果ガス排出量の削減率などを設定し、地域とともに脱炭素社会の実現や経済の成長につながるさまざまな施策を展開していきます。

今後も、ESGやSDGsの推進に取り組む地域企業の支援に積極的に取り組むことで、より多くの地域企業に「サステナビリティ経営」を広く浸透させていきたいと考えています。

■サステナブルファイナンス目標「2030年度までの累計実行額2兆円（うち環境関連ファイナンス1兆円）」

単位：億円

	2021年度 目標	2021年度 実績	2022年度 目標	2022年度 第3四半期迄 実績	2022年度 進捗率
サステナブルファイナンス	1,000	1,133	1,150	2,477	215%
うち環境関連ファイナンス	500	547	575	1,077	187%

<ポジティブ・インパクト・ファイナンスの推進>

サステナブルファイナンスの一種である「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、PIF）は、お客さまの企業活動が環境面・社会面・経済面の側面に与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブな向上とネガティブなインパクトの低減・緩和に向けた取り

組みを支援する融資スキームです。

変化が激しく先行きを見通すことが困難なVUCA時代において、地域の持続可能性を維持・向上させていくためには、お客さまに環境変化への対応を促し、強靱な企業体質づくりを支援することも地域金融機関に求められる重要な役割だといえます。

そこで、静岡銀行では、PIFは、地域企業が将来にわたって成長を続けるために必要なサステナブルファイナンスであると考え、2021年1月、国内の金融機関で初めて、中小企業向けPIFの取扱を開始しました。

これは、地域のシンクタンクである静岡経済研究所と日本格付研究所（以下、JCR）の協力のもと、中小企業向けPIF評価スキームを構築したものです。また、すべての案件で国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合しており、環境省がまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」と整合的であることの第三者評価をJCRから受けています。

2023年3月末時点の実績は、累計で43件・約140億円にのぼり順調に推移しています。

<PIFから始まったサステナブルファイナンスの拡大>

静岡銀行では、より多くのお客さまにSDGsへの取り組みに関心を持っていただくため、損害保険会社と連携してSDGs診断ツールを用いるとともに、PIFで蓄積された「ポジティブインパクト」「ネガティブインパクト」の概念を反映したフィードバックを実施する「SDGsサポートローン」を2021年12月に開発し、お客さまへの提供を開始しています。

また、静岡県信用保証協会と連携してSDGsに取り組む企業を支援する保証制度を開発し、2022年4月から取り扱いを開始するなど、サステナブルファイナンスの「量」の拡大に取り組んできました。こうした積極的な活動が評価され、2022年2月に環境省が主催する第三回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門で銀賞を受賞し、本年2月の第四回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」では、最高賞の金賞を受賞しました。

<PIFの「質」の向上を通じた伴走支援の実施>

静岡銀行では、PIFを全国に広げるため、他の地域金融機関との情報交換を行うなど、地道な普及活動に取り組んできた結果、PIFの認知度は向上し、現在、他の金融機関を含めて400件以上の実行につながっています（2023年3月末時点、静岡銀行調べ）。

PIFは、ただ実行するだけでなく、特定したインパクトについて、その後の測定ならびにマネジメント（Impact Measurement and Management、以下IMM）の体制強化が重要となります。静岡銀行では、従来から、お客さまが融資実行時に掲げたKPIの取り組み状況を確認するため、1年に1回、対話（エンゲージメント）を通じたモニタリングを実施しています。また、さらなるPIFの「質」の向上を図るため、環境省が実施する「ESG地域金融促進事業」を通じたIMM体制の強化にも積極的に取り組んでいます。

今後も、地域企業のKPI達成に向けて多様なソリューションを提供するなど、お客さまに寄り添った支援を徹底することで、「サステナブルな地域」の実現をめざしてまいります。